

刊夕日六十二月八

常磐每日新聞

定価 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
 廣告料 五號十二字 日行金五拾圓
 日曜祭日の日 日行金五拾圓
 發行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

北滿より一筆

前平刑務所長
 濱江監獄在任
 本庄 吉助

(前略) 當地の模様を聊か御知せ申上ます、嘗哈爾濱は北鐵接收後加速的に邦人が殖えて日本化する事は誠に愉快に堪えませんが、願みれば哈爾濱は今から約三十年前即ち日露戦役當時は森林に圍まれた松花江岸の一部露西亞人が築いたハルビン市極東に對する帝制露西亞の侵略の足場として建設された露軍人町でしたとのことです、露西亞革命支那の利権回收時代奉天軍閥時代滿洲事變と幾變遷を経て今日に於ては遂に人口五十萬の大國際都市にならうとは誰も想像しなかつたと思ふ、そして目下は一日と舊ハルビンが葬られ

超特急が全速力で走つてゐる時は、急停車しようとしてブレーキをかけても約三百五十米先でないとは止まらぬ。

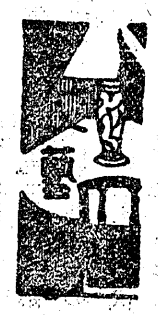
日本に於ては新しいハルビンが成長しつつある、露治時代に於ける軍隊及鐵道従業員中心の發展振りに反

して支那の勢力下に於けるハルビンは、夥しく苦力(勞働者)と商人の群が殺到したとのことで然し滿洲國成立後のハルビンは資本と技術と知識とを持つた邦人の力に依つて着々建直しが行はれてゐる、殊に治安の恢復した北鐵接收後の今日邦人の發展振りは目覺しい

0000000000
 明日の献立
 0000000000

【朝】味噌汁、豆腐、小付、鯛のしほから、【書】煎り煮、蓮根、こんにやく、【晚】コロッケ、馬鈴薯、玉葱、酢のもの、かに、マヨネーズかけ

ものである。現在邦人三萬六千人、車變前に於ては僅かに三千人足らずだつたとの由それ舊軍閥の壓迫を受けて多年苦心を續けて築きあげた地盤は根底から覆され全在留民は引揚げの時期を待つばかりだつたとのことで、それが滿洲國成立以來忽ち五千人となり八千人となり北鐵接收後は俄に増加すると云ふ躍進振りで現在の邦人人口との様な數字を示してゐる。(日本居留民會調査昭和十年六月末日現在)



選舉肅正歌

平町 吉岡獨歩
 肅正のいかにあるべき縣會の選舉ははやも數週に迫る緊要一番せよ、是の秋の選舉こそ實に肅正の試練と思ひば徒に過ぐべき

覺醒の好機、その昏の選舉が生める積弊を矯めて明るき政治仰がんと、誘惑を撃退して、種々の利をもて人を誘ふは刺ある薔薇の甘き香に似て自己の良心に訴へて、眞心の鏡にかけて曇りなく正しき人を選び挙げなん

文藝募集

看護婦急派 求めに應じます
 平町南町
 平看護婦會 電話三〇七
 木村病院 平町新川町十九 電話一六四番

御位牌と品よく
 佛壇佛具 安
 平新川町 橋本屋 電話一六三

株式賣買
 合資三共商事 大町 電話三〇番

増車御披露
 陸の王者として定評ある流線型ダツチブラザーズ二輛増車致しました。タクシーの御使用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。大型貸切専門車も御座います。

尼子タクシー 電話六四〇

名城名産 美味貝焼 じほから 新鯉節大賣出し
 魚問屋 店理代命生本日大最優最 榮盛賀志 榮 (三二電)目丁四平

◎最も理想的な相互扶助機關◎
 中小商工業者の大福音
 石城中小商工互融會生る
 融資御希望の方へは 十銭の日掛をなし三十日以上掛金をすれば九十圓の御用立を致します。五分以上の割戻分配を致します。

本會の事業
 一、社會公共事業及慈善事業への奉仕
 二、懇談會併精神修養講話會
 三、會員の吉凶慶弔
 四、人事百般の相談
 五、法律無料相談
 六、診療救恤の補償
 七、納税の代納事務取扱
 八、勤儉蓄積の奨励
 九、小資本の融通
 一〇、會員の特典

皆さん御利用を願ひます 相互扶助機關
 石城中小商工互融會 福島縣平町播磨小路一番地

耳鼻咽喉科専門 平田町 (電話六九二番)

病室完備 自炊便有 山内醫院 醫學士山内亨吉

月曜是非

参拜の無賃乗車

石城教育部會は「小學校教員の伊勢太神宮参拜乗車無賃」を決議し、植田校が當りとの衝に當つて、此の決議を貫徹すべく、鐵道省に運動を開始した、非常時の國家意識を強調する上に於て、第二の國民たる子弟の教養に、その一舉一動が至大の影響ありと、小學教員が思想善導に最も重要な役割の焦点たるは何人も是れを認むる處である、

而して一方、小學教員の重大な責務に對して、酬ゆる處は甚だ乏しいのである、然も町村經濟の行詰りは郡内に於ても、隨所に教員の月俸不拂を見る、斯かる憂懼に耐えぬ事態に遭遇すると雖も、未だ會つて教員側の不平不満の爆發を一度も耳にした事がない、教員達は自己の生活を犠牲に供して、町村の苦難に殉じて居るのである、實にその崇高なる、涙なくして、是れを見越す能はざるものがある、

尙ほ又、不斷繁激なる職務に身心を疲勞のどん底に墜らすと雖も、稀れの休養たるべき夏休を迎へてすら、兒童の指導訓練に、講習攻めに、催しの幹旋に、其他の調査研究に、殆んど寧日なき有様である、此の絶えざる苦勞に全精力を傾注して倦まず、

る人々に對して、國家は最大限の厚遇を以つて答ふべきである、況んや、日本精神高調の一助として皇祖伊勢神宮に参拜せんとする至情は、是非是れを満足せしめ、その美譽の達成を圖り度い、此上からの無賃優遇の如きは國家として、日頃の健闘に報ゆべく實に些々たるものである、

清明な心で

神前に誓約を献ぐ

昨日の選舉肅正祈願式 社で行はれてゐるが本廿六日以後の祈願式は左の通りである、

(廿六日)午後一時白水常 磐神社(廿九日)午後一時

既報平町の選舉肅正祈願式は昨廿五日午前九時花火や鐘等を合圖に五百餘の有権者縣社子歛倉神社に參集山部神官の修祓、祝詞奏上があり次いで青沼肅正委員長は別項の如き誓詞を奏上玉串を奉奠して閉式後引續いて青沼町長、柴田平署長、篠山第一校長の肅正に關する講演あり参列者いづれも嚴肅な氣分に叩かれて午前十一時散會した

謹みて縣社子歛倉神社の大前に白す今回福島縣會議員選舉に際し互に相誠め相率いて必ず清明潔白なる心を以て事に當り苟くも非曲あらしめず忠良なる議員を擧げて地方自治の成果を收めて天業を冀望し奉らんことを期す 冀くば冥鑑を垂れ給はんことを茲に一同を代表し謹みて盟ひ奉る

内郷の祈願式 内郷村の選舉肅正祈願式は昨廿五日より村内九區の村社郷

石城教育部會今回の具申案は、獨り小學教員の嘆願に止どまらず、その背景に、擧げて父兄の支持する熱意を、其筋に知らせたさものである、

平商覇權を握る

北日本庭球に堂々優賞

東北學院主催北日本中等學校庭球選手權大會へ出場した磐中、平商軍は既報の如く傷つかずで第三回戦に臨んだが第二日目の戦績左の如く平商對磐中兩大勝組決勝戦となり縣下大會決勝に惜敗した磐中は雪辱の意氣に燃えて力戦したが力及ばず光榮ある第十二回選手權大會は平商本田、岩佐兩君が堂々優勝した

- △第四回戦
- 磐(大谷四) 一山(前)
- 中(宮川四) 一仙(阿)
- 磐(水野五) 三角(河)
- 中(水野四) 三角(高)
- 平(本田四) 一酒(小)
- 商(岩佐四) 一林(藤)

人絹勝つ

植田の野球

既報植田町スポーツ協會主催の軟式野球大會は去る廿四、五の兩日植田小學校庭で開催参加九チームが優勝カップ争奪戦を演じた結果昨廿五日の決勝戦で人絹チームが四對一の成績で植田林友を破り優勝した準決勝後の成績左の如くである

- △準決勝
- 植田林友3 2泉
- 人絹1 0勿來
- 決勝
- 人絹4 1林友

神宮出場の教員

本郡は來月八日豫選會

體協石城支部主催陸上競技神宮出場教員選手豫選は來月八日午前九時より磐女校庭で日本陸上競技ルールに據り舉行される尙同日は本郡對茨城縣多賀郡對抗競技選手の豫選會も併せて行はれるが種目は二百米、八百米、八百繼走、三段跳、槍投圓盤も加ると

好間更生協議

本年好間村は九月一日午前九時から小學校に更生委員會を開き更生計劃案樹立に就いて協議する

城山軍が勝つ

平鐵道車掌チーム對城山の野球試合は昨廿五日午前八時

り平商グラウンドで行はれたが接戦の末十五對十二で城山勝つ

長女好 △杉平 當時平窪村字松山 黒木喜一氏二男正胤 回婚 姻 △田町八六 廣瀨篤郎氏 (二九)東京府北多摩郡小金井村大久保晋子(二二)さん 回死 亡 △長橋町 當時内郷村字鬼ヶ澤酒井庄吉(一九)さん

石炭一〇〇パーセント
サーヴキス

時節柄 値下げ!
ダンゼン
一等塊 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢
特塊同 金參拾五錢
品質が優良 デカケレバ 一段バカリ安クトモ結局 目方が正確 高イモノニナリマス
の此点は諸店を絕對に御信用願ひます
◎市内は一俵より配達致します
電話三七番
阿部石炭商店



毎度有難う存じます
レストラン
平曾詔
電話624

スリ團から追はれ

自轉車で高飛逃る

浅草公園から一路小名濱へ

夫れも窃取した代物

昨廿五日午後二時頃小名濱町地内を一少年が東京市のナンバー付き自轉車で走つて居るのを怪しむ駐在所員が取調ると警備村大字白鳥坂下生れ住所不定大田原源四郎(九)假名で昨年四月上京浅草公園に集喰ふ拘模團に加つて盛んに荒し廻つたが其筋の監視が嚴重となり身の危険を感じたので去る廿五日浅草公園内で窃取した自轉車に乗つて小名濱町に入り込み海水浴場其の他で數件の小鼠泥を働いた

鐵橋で逃げ遅れ

列車に轢る

川前村大字川前字根尻居住箱崎工業所人夫飯島清四郎(八)は廿四日午前七時二十分頃磐越東線小川郷川前瞬間鐵橋を通行中平驛發上り旅客十二号列車が驛進し夫れに逃げ遅れて轢殺された

帳場からコツソリ

手の長い出前持

働く先々を荒し廻る

平町古鍛冶町生れ石井勝之助(三)は昨年未より二丁目魚清食堂に出前持として雇れたが本年四月以來張場から十五六圓宛數回に亘つて窃取した事が發覺居憎くなつて去る廿四日同店を逃走廿五日南町地内徘徊中平署員に檢擧されたが當人は取調の結果以前魚敬、富士等に雇れて居た際も十圓乃

日用品の取扱協議

けふ開かる

既報石城産業組合部會の日用雜貨品取扱協議會は本廿六日午前十時より團體事務所樓上に開會縣聯合會三

浦事務以下郡下産業組合係員二十餘名が出席左記諸案を協議した

- 一、雜貨配給事業の件
- 一、組合年中行事設定の件
- 一、記念日普及デーの件
- 一、商品知識普及の件
- 一、秋冬用品配給の件
- 一、購買事業擴充促進助成の件

唱歌遊戯

石井女史指導

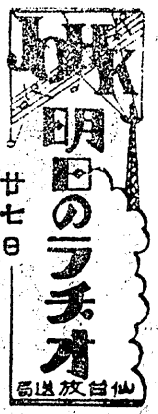
石城郡女教員會主催唱歌遊戯講習會は東都の石井小浪花史を迎へて廿六日より三日間午前八時より午後三時まで平第二小學校講堂に開催されたが會員約三百名で講習曲目は四十餘あり熱心に受講中である

送電線に

觸れて即死

好間村大字北好間秋原炭礦坑夫佐藤長孫(五)は去る廿四日午後九時半頃坑内で作業中誤つてポンプ用送電線に觸れ即死した

平驛の講演會 平驛は東京鐵道局委嘱拓殖大學



明日のラジオ 今晩も明日も南西の風山間部は驟雨模様

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 山の便り水の便り「琵琶湖」
- 後六、二五 夏期特別講座 全國神社巡り「月山神社」寺田密次郎
- 後七、三〇 漫才「朝かな」後「シカク、マンマル」
- 後七、五〇 清元「須磨」清元梅大夫他
- 後八、二〇 物語「釣鐘草」夏川静江
- 後九、〇〇 涼み臺一問一答 答藤談 花柳章太郎 木村莊八
- 後九、三〇 時報「ユエ」氣象通報 番組豫告
- 明日の部 前六、三〇 速成フランス語講座 丸山順太郎

風呂敷包を

抱へて家出

安積郡富久山村大字久保田染物業田代喜平方雇人大塚光雄(九)は廿四日午後八時頃風呂敷包一つを持つて無断家出平町方面に逃走した

エニ側から落ちて

三歳の幼兒絶命

湯本町字辰ノ口二五兵治五男佐藤健司(三)は廿四日午後六時頃兄照一(一〇)と自宅内で遊戯中椽側から墜落し震蕩を起して重傷を負ひ昨廿五日朝絶命した

- 前七、〇 一朝の修 孟
- 前七、四一 六年生のおさ
- らひの時間「理科」伊藤博
- 前八、四一 婦人夏期講習「實用習字」中村春堂
- 前一〇、三〇 家庭講座「屋外作法」井下清
- 前一〇、〇〇 教育特別講座「學習心理講話」久保良英
- 後〇、〇五 ギターとアツコーディオオン獨奏 月村嘉孝 平茂夫
- 後一、三〇 對時局帝國在郷軍人會全國大會
- 後四、二〇 全國中等學校蹴球大會優勝戦(甲子園)

- 南運動場中繼
- 後六、〇〇 子供の時間 傳説物語「犬鳴山由來」上田治朗他
- 後六、二五 青年の時間「帆船で世界を一週した話」小關三平
- 後七、三〇 趣味講座「洒落と口合ひ」寺田四郎
- 後八、〇〇 長唄「松の翁」中西露子
- 後八、一三 聲色「吹寄せ」田中良之助
- 後八、二〇 講談「正直清兵衛」實井琴凌
- 後八、五〇 映畫劇「吹けよ春風」松竹浦田連中

卒 店員 二十二才 尋卒 外交員 二十二才 高卒

木村外科醫院 平町六丁目橋際 電話三〇九番

難波 内科一般 醫學博士 難波陸 看護婦募集 平町大町新川端 電話五〇〇二

井坂醫院 産科 婦人科 花柳病科 入院隨意 平町田町 電話五五九番



明治太平記

(作) 寺島樵史

第二回

浪々の身(一)

お江戸日本橋——。
江戸が東京になつても、
やはり日本橋……。だが往
來の人の風俗にめぐり東
京らしい匂があつた。
紅毛服に羽織、散髪に直
衣、ツンツルテンの背廣服
に黒の山高帽、洋傘をステ
ツキがはりについて、男物
の袴をはいた女學生……な
んとこの文明開化のよそぼ
ひのおかしさ……。
だが、それらと肩をなら
べてやはりチョン鬚が通る
唐人鬚が、島田が、銀杏返
しが通る。

この八月に正式に散髪脱
刀令がくだるといふ評判な
ので、むかしに執着のある
舊弊人たちのうちには、チ
ョン鬚に大たぶさに大小で
は人眼に立つといふので小
刀を夏羽織の下に隠し差し
て巡察のきびしい眼を黙殺
して高下駄をカラコソと鳴
らして歩くのもある。
それらはいつては廢藩置
縣に不服な政治當路のいや
がる失業浪人なのだ。
『江戸が東京になつてから
といふものは、すい分、芋
武士どもがはびこりだ』

よ、みるが、い、どいつも
こいつもしみつたな面し
てやがらア」
日本橋のたもとにたつづ
む男女……。往還の開化人の
姿を送迎してゐた芳丸の芳
三郎は時勢を慨嘆するやう

『なに、おとわさん、廢藩
置縣となつて浪人者がいよ
／＼殖えるのはまだまだ我
慢が出来るが、領地を取上
げられた田舎殿様が、みん
な東京へ出て来てさ、大き
な邸をかまへ、みんな贅澤



な口調だつた。
連れの女はじいと掘割の
水に腫をそゝいでゐる辻君
上りの、らしやめん上りの
おとわだつた。

『ねえ、斯うして、えん天
にあぶられながら毎日東京
市中を歩き廻つても一人だ
つて旗本らしい凛としたの
に出會はねえなア、みん

芋武どもに押されて姿を
くらましたからか……。』
芳三郎はさらに述べ懐めい
たことをいつておとわの顔
と往來の人々を見くらべた
……。』
おとわは無心か有心かな
ほもしいと水の面を凝視し
てゐる。
『なに、おとわさん、廢藩
置縣となつて浪人者がいよ
／＼殖えるのはまだまだ我
慢が出来るが、領地を取上
げられた田舎殿様が、みん
な東京へ出て来てさ、大き
な邸をかまへ、みんな贅澤

『い、こいつあひとごと
ぢやねえのだ、さういふ遊
んで暮す人間が殖えてくる
といふの、一方で貧乏人
が殖えることで、やがて國
が滅びる前觸なんだよ』
『オホ、、やに、官員さ
んみたい顔なるのねえ
……。』
『官員さんか……。ハ、ハ、ハ、
……。』
官員さんと云はれたのが
よつぽどをかしかつたとき
みえて、芳三郎は大仰に笑つ
てしまつた。
それ、話が進切れふたり
はまたほんやり往來をなが
めた。
『ちよい』
とおとわは不意に芳三郎
にさ、やいた。

▽廣告△

店主	が	店員
を	連	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	
茶		
堂		
食		
喫		
酒		
場		

平・田町
レストサロン
電話三五二番

胃腸病性

内 科
胃腸病科

皮膚性病科

皮膚科

藤沼醫院

平町紺町 電話五〇七番

藤沼醫院

内科 小兒科 花柳病科

平町紺町 電話五〇七番

外科 X 光線科

性病科 外科

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

久全屋商店

警城セメント會社特約店

警城平町五丁目 電話九番九九

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

外科 X 光線科

門 科 線 光

上田外科病院

平町南町
電話一二九番

高久醫院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

内科 小兒科
耳鼻咽喉科
外科 花柳病科
平町田町 電話五二三番